

2. 履修科目と単位について

(1) 単位について

- 1) 授業単位は、すべて学修活動 45 時間をもって 1 単位とすることを標準とする。
- 2) 学科目の大半は原則として半年 15 週あるいは 1 年 30 週をもって完結する。
- 3) 1 科目の授業時間数の 2/3 以上出席し、試験、レポート等の成績を総合して合格と認められた学生には、定められた単位が与えられる。
- 4) 学科目の性質により、講義、演習、実習に大別され、教室における授業時間数が同じでも、その単位の計算を異にすることがある。
- 5) 単位の計算基準

授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを基準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね、15 時間から 45 時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。

(2) 科目の履修について

「学科別・入学年度別カリキュラム表」は、薬学部の卒業に必要な履修単位数とその各学年次への配分を示し、また、履修科目とその履修順序を示している。
なお、履修科目等変更がありうる。

(3) GPA (Grade Point Average) 制度について

<北里大学における GPA (Grade Point Average) 制度について>

対象科目の原成績 (100 点~0 点) を、以下の計算式による GPA 指数 (以降「GP」) に変換し、各対象科目の GP に対象科目の単位数を乗じ、その総和を対象科目の単位数の総和で除した値を GPA として算出します。

GPA の対象となる科目は、必修科目及び選択科目とします。なお、不可科目も含み、再履修科目は最終評価を基に計算します。

<計算式>

$$\frac{(GP \times \text{修得単位数}) \text{の総和}}{\text{総履修登録単位数(「不可」の単位数を含む。)}}$$

GP = (TS - 55) / 10 ただし、GP < 0.5 は GP = 0.0 とする

※GP: GPA 指数、TS: 原成績 (得点)

ただし、上記の計算式で計算しますが、他の一般的な GPA 制度 (秀・優・良・可などの評価 (レターグレード) から GP に換算) の範囲は 4.0 ~ 1.0 であるため、通用性に配慮し GP 「4.0」以上の値を一律「4.0」に、「0.5 以上 1.0 以下」の値を一律「1.0」にした GP を用いて計算します。

<薬学部における GPA 値に基づく学修指導について>

成績不良による留年の場合は、GPA 値に基づき、学修指導 (*) が行われる場合があります。下記により学修指導が行われ、過年度からの度重なる学修指導にも関わらず改善が見られない場合には、退学勧告が行われることがあります。

なお、GPA 制度はあくまでも学生の皆さんの学修意欲向上を目的としているため、むやみに退学勧告が行われることはありません。

(*) GPA 値が低くなる原因として、「履修単位数」と「修得単位数」に開きがある場合があります。

GPA 値が低い場合は、履修単位数が多いために十分な自学自習の時間がとれていないことが考えられますので、大学における学修への臨み方を含めて指導が行われます。

GPA 基準値 当該年度の GPA 値 1.0

指導内容

休学等やむを得ない事由による場合を除き、当該年度の GPA 値が GPA 基準値を下回った場合

- 1回 本人とクラス主任との面談が行われ成績不振に対する学修指導が実施される。
- 2回 本人と学年主任との面談が行われ成績不振に対する学修指導が実施され、保証人への通知が行われる。
- 3回 退学勧告 (本人・保証人と学部長との面談を実施し、退学するか学修を継続するか本人が選択)